

ハグ HUG



HUG (H:避難所^{ひなんじょ}、U:運営^{うんえい}、G:ゲーム)とは、グループで意見を出し合いながら、平面図を用いて避難所の配置を考えるツールである。避難所に身を寄せる避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情などが書かれた避難者カードを使う。対応が必要な出来事が次から次へと発生する中で、避難所の運営をHUGを通じてイメージしてみよう。

HUGの進め方

1

グループ
わけ

6~10人で一つのグループを作り、避難所を運営する立場から、避難者に見立てたカードを避難所に見立てた図面に適切に配置していく。また、与えられた情報をもとに避難所の運営を進めていく。

2

ゲームの
説明

避難所に見立てた体育館・グラウンドの図面を用意する。自動車の進入ルートや駐車場、通路や受付の場所などを書き込んでいく。避難者に伝える必要がある情報は、情報掲示板に見立てたホワイトボード等で周知する必要がある。

3

カードの
読み上げ

カードを読み上げる係が、避難者情報やイベントが記載されたカードを次々と読み上げていく。

4

カードの配置と対応に
困った点などの共有

体育館の平面図に、避難者カードを並べていく。通路や受付など、必要なことを書き加えながら、実際の避難所のイメージを作り上げていく。

HUGの様子

